

たいと思います。

並木 幹男 議員

- ・環境問題について
- ・文化・スポーツ行事について

Q ①二つの清掃組合のゴミ袋代等の統一について

②資源ごみ、不燃ごみの収集の統一について

③残土条例について、山武地区における地下水保全協定の締結の状況は。また、現在の市の条例の効力を高める意味から条例を改正し、許可条件に住

民同意の義務化を入れるべきではないか。

④市の行事、例えば産業祭や文化祭の今後の取り組みについて

⑤旧町村ごとのスポーツ大会等の運営に関して

A ①環境衛生組合の収集方法を变えることについては、構成市町のそれぞれ事情の統一を図って同意を頂かないといけないので少し時間が必要。

②今年の4月から山武郡市環境衛生組合が成東地区

の回収方法に合わせる形で、2分別により月2回の収集に統一されます。

③残土条例の中に隣接同意を求めることは書かれていないが、指針の中に入れる事は可能である。

④関係する団体の皆さんの参加を頂きながら一体化を図っていきたい。

⑤体育協会が中心となって大枠の体制の話は進めているところです。



齊藤 道良 議員

・介護保険制度について

Q ①介護保険料の値上げだけでなく、高齢者への増税や定率減税の廃止などの増税が行われ

ました。その上、2008年度からは75歳以上の後期高齢者医療制度が始まり、年金から健康保険料が天引きされます。年金暮らしの高齢者が、年金から介護と健康の保険料を天引きされたら生活が

できなくなるでしょう。

低所得者の負担軽減策として、保険料と利用料の減免制度を設ける考えはないでしょうか。

②送迎乗り合いバスは、もっと近くを走ってほしい。また、山武地域では成東病院や市役所まで行ってほしいという声があります。コースを組み替えて市内全域の運行はできないのでしょうか。

A ①財政の限界もあり、これ以上の負担軽減策を考えていくのが難しいところであります。

②地域のニーズに即した運行形態を総合計画に当てはめていきたいと考えます。

③国保税と療養給付一部負担金の減免制度を。

④乳幼児医療など公的医療費助成を受けている子どもや、65歳以上の低所得者に対する資格証明書発行は中止すべきでは。

A ①県が地域医療から手を引き、後に残るのは民間の医療だけとなる可能性は非常に強い。造ってしまいました、後はやる方法でやりましょうというところに追い込まれないようにやっていく。

②国保税の中でまかなうべ



送迎乗合バス (松尾自動車教習所)

蔵 眞 議員

・山武地域医療センター計画について

Q ①地域医療センター計画に関してこれまで県は、新病院の運営費は一切出さないと明言してきた。しかも、東金病院を早期に廃止し、地域医療からの撤退を最大の目的とする県が、運営に関する財政支援を言い出すこと自体、不自然では。

②一般会計からの繰り入れで国保税の値下げを。

③国保税と療養給付一部負担金の減免制度を。

④乳幼児医療など公的医療費助成を受けている子どもや、65歳以上の低所得者に対する資格証明書発行は中止すべきでは。

A ①県が地域医療から手を引き、後に残るのは民間の医療だけとなる可能性は非常に強い。造ってしまいました、後はやる方法でやりましょうというところに追い込まれないようにやっていく。

②国保税の中でまかなうべ

き。

③税減免はケース・バイ・ケースで対応。一部負担の減免は近隣市町の動向を見て。

④資格証を個人ごとに発行できれば可能。



国保成東病院

多部 昭二 議員

・デスティネーション千葉への取り組み体制について

・病院問題について

Q ①観光キャンペーン、デスティネーション千葉の観光客をどのよう

に山武市へ回遊させているか。

②医療センター計画につ